

## 地域振興策の実施状況について



搬入路の入口となる旧国道3号との交差点改良工事については、交差点入口に街路灯2基を設置する等完了しました。今後とも、地域振興策の円滑な実施に取り組んでまいります。

## 施設の名称及び受入料金決定について

処分場の名称を「**エコパークかごしま**」に決定しました。

また、受入料金は、受入廃棄物の種類に応じて **18千円～25千円** (トン当たり、消費税抜き) で決定しました。

今後とも、地域の方々のご理解を得ながら、本県における循環型社会の形成や地域産業の振興を図るため、安全性の高い全国でもモデルとなるような公共関与による施設の整備・運営に取り組んでまいります。

今後とも、**エコパークかごしま**を  
よろしくお願いします。



## 維持管理マニュアルについて (その1)

### ◆維持管理マニュアルとは

公社、県、関係自治会が締結した環境保全協定に基づき、搬入、埋立、浸出水処理、周辺環境及び施設の管理を適切に行い、安全な処分場の機能を維持しながら廃棄物の安定化や閉鎖空間での埋立を適切に行うとともに、効率的な運営を図ることを目的に、詳細な作業工程等をまとめたものです。

### ◆受入廃棄物

燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん、13号廃棄物  
※廃石膏ボード、石綿含有廃棄物を含む

### ◆受入基準

廃棄物の種類	基準
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則として鹿児島県内で排出されたものであること</li> <li>原則として二種類以上の廃棄物を混載していないこと</li> <li>飛散、流出しないように必要な措置を講じていること</li> <li>著しい悪臭を発しないこと</li> <li>引火性、発火性、爆発性のないこと</li> <li>最大径がおおむね30cm以下であること (廃プラ、ゴムくず、石綿含有廃棄物は除く)</li> <li>油分を含まないこと (油膜を生じないこと)</li> <li>その他、基準に照らして判断が難しいものは、事前に相談すること</li> </ul>
燃え殻、汚泥、 鉱さい、ばいじん、 13号廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>溶出試験結果 (※1) が判定基準 (※2) に適合すること</li> <li>熱しゃく減量が15%以下であること (燃え殻、ばいじん)</li> <li>含水率が65%以下であること (汚泥)</li> </ul>
廃プラスチック類、 ゴムくず	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大径がおおむね15cm以下であること</li> <li>※石綿含有廃棄物は、最大長がおおむね2m以下で、シート等により梱包されていること</li> </ul>

※1 溶出試験結果：廃棄物処理法に定める方法により検定した場合における検出値  
※2 判定基準：廃棄物処理法に基づく基準省令に規定する判定基準



### 【問い合わせ先】

- 公益財団法人鹿児島県環境整備公社  
〒895-8501 薩摩川内市神田町1番22号 TEL/FAX 0996-21-1220/0996-21-1360
  - 鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課 電話 099-286-2650
- ※この「環境整備公社だより」は、当公社ホームページ (<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>) にて閲覧いただけます。

## 環境整備公社だより

VOL. 13

平成26年4月  
鹿児島県  
公益財団法人鹿児島県環境整備公社

## 薩摩川内市民による現場視察について

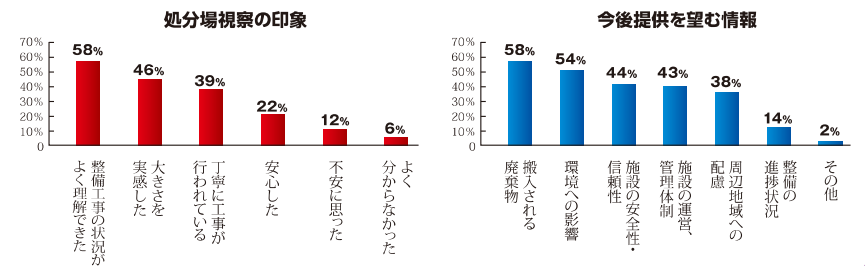


2月9日、「エコパークかごしま」整備地において、関係自治会をはじめ薩摩川内市民約130名の方々が、北側上段部及び底部から貯留構造物、覆蓋施設蓋の屋根工事、点検用通路などの進捗状況について視察されました。視察後のアンケートでは、「整備工事の状況がよく理解できた」、「丁寧に工事が行われている」などのご意見をいただきました。

引き続き、平成26年中の完成・供用開始に向け、安全性の高い全国でもモデルとなるような施設の整備に取り組んでまいります。

## 薩摩川内市民を対象とした視察アンケート結果

アンケート回収率 98%



## エコパークかごしま連絡協議会について

第13回エコパークかごしま連絡協議会を2月18日に開催しました。会議では、エコパークかごしまの完成後、安全に施設を運営するための「維持管理マニュアル」及び「危機管理マニュアル」の概要について公社が説明、委員の方々に内容を協議いただき承認されました。

エコパークかごしま整備工事現場作業の状況



① 覆蓋施設工事

覆蓋施設は、現在、南側から北側に屋根工事を進めています。埋立地内の柱の本数を減らすとともに、浸出水が集まる範囲には柱を配置しないよう、キールトラス(梁)は、柱のマスト頂部を支点としてケーブルで支える構造となっています。

また、東側の屋根鉄骨は、最大吊り上げ能力650t(高さ約60m)の大型クレーンを使用し架設しています。

遮水工事は、埋立地内の5本の柱への遮水シートの施工が完了し、現在、貯留構造物の法面部分の施工を進めているところです。



② 浸出水処理施設

浸出水処理施設は、廃棄物に触れた浸出水を処分場内で循環利用する水質になるまで処理する施設です。今後も処理設備の設置や内装の工事を進める予定です。



③ 管理棟工事

管理棟は、安全・安心な処分場とするために必要な管理や監視を行うとともに、処分場の役割の紹介など環境学習を実施するための施設で、モニタリング情報等を監視する事務室や研修等のための会議室、展示スペース等を設けることとしています。現在、基礎工事を施工しており、今後、柱や梁の鉄骨工事をを行うこととしています。

④ 防災調整池工事

防災調整池は、管理用道路の舗装と法面工事の一部を残し、施設として必要な機能が完成しました。



エコパークかごしま安全監視委員会による第4回施工状況調査について



2月24日、エコパークかごしま安全監視委員会による施工状況調査が行われ、委員長の平田登基男鹿児島工業高等専門学校名誉教授をはじめ12名の委員が参加されました。調査終了後、平田委員長は、「安心・安全で丁寧な工事の施工を行っており、全般的に工事が順調に進んでいる。」「生命線である遮水工のシートについては、試験を行うなど、非常に慎重に施工されている。」などとコメントされました。